

希望に繋がる取組提案と認知症への理解促進



健康増進のための施策について久保 骨密度測定^①の検査または骨粗しょう症^②検診を実施されるのが良い。市の考えは。市) 検査内容は健康増進事業の内容が望ましい。協議を進める。久保) 男性へのHPVワクチン^③任意予防接種費用助成を再要望。市) 医師会と協議を行い、検討。久保) 骨髄移植等により免疫を失った方への予防接種再接種費用助成の対象年齢の拡大を要望。市) 他自治体の状況も確認し検討。

認知症普及啓発について久保 認知症という大きな社会問題を明るく軽やかに受け止め、社会側の意識改革を進めたい。民間事業者による「注文をまちがえる料理店」等の取組に対する市の

お考えを伺う。市) 認知症への理解促進に寄与されることを期待するとともに、周知・広報などでご協力できるのではないかと考える。久保) 大きな後押しになる。私も尽力する。

子育て世帯の支援施策について

久保) 産後ケア事業^④が着実に拡充高く評価。アウトリーチ<訪問>型も大切な取組。効果伺う。市) 利用期間は産後1年を経過する日まで。外出困難、流産・死産の経験、医療的ケア児のご家庭など特別な配慮が必要な方へも必要なケアを提供可能。久保) 多胎児家庭への家事育児訪問事業^⑤が拡充され、父親在宅時も支援が可能となり、感謝。多胎児家庭移動支援事業^⑥の申請手

公明党 久保 けいこ



続きの負担軽減を要望。市) 今後も研究する。

防災訓練(ペットとの同行避難訓練)について

久保) ペットとの同行避難訓練の実施を要望。市) その避難訓練は有効だが、すぐの実施は難しく、実施に向けて検討する。

野焼きについて久保 野焼きは(一部を除き)原則禁止。市HPの分かりやすい改善と市報等による周知広報を。市) HPを検討更新し、乾燥の時期などに周知を努力する。他、道路舗装等(並木町1丁目交差点・高校東通り・団地南バス停前歩道)について質問致しました。

市民自治を進め、協働のまちづくりを！



◆市民との協働を進めていくために (Q) 昨年度は提案型協働事業^⑦の提案がなかった。対策は (A) 説明会を実施した他「協働をもっと進めよう」という市民向け講座を毎月実施予定 (Q) 公募型協働事業「こくぶんじカレッジ」について (A) これまで234人の修了生がおり相乗的にイベントなどに関わる人材も増。修了生から支援する側に育った方も。人材発掘や育成という点で成果が出ている (Q) 修了生に活動の場を (A) 活躍の場が広げられるよう関係部署等と連携し支援をしていきたい◆学校における子どもたちへの特別な支援について (Q) 来年度、知的障害学級が六小に開設される。詳細は (A)

現時点において教育委員会に諮り承認されていないため、改めて報告する (小坂) 該当地域の方にとっては非常に大きな問題。できるだけ早く具体的な説明を (Q) 自閉症・情緒障害学級に在籍する児童・生徒数は小・中学校とも5年で約2倍。学級増設の検討は (A) 児童数の増加傾向は認識。今後、特別支援教育推進委員会での論点の一つとなると考える (Q) 新年度の介助員等の配置状況は (A) 特別支援教育支援員は配置できているが、クラスアシスタントと介助員は数校で配置できていない。早期に人員が確保できるよう対応中 (小坂) 新年度に支援がなかったゆえに不登校となった事例もある。

国分寺・生活者 ネットワーク 小坂 まさ代



子どもにとって環境が大きく変わる4月からの配置を再度強く求める (Q) 保育所等訪問支援事業とは (A) 障害児が保育や教育等集団生活で安心して過ごすことができるよう、普段通っている場に専門的知識のある支援員が訪問し、環境整備支援を行う事業。必要な方に利用してほしい (Q) 学校現場を含め広く事業の周知を (A) 保育所、幼稚園、学校等受け入れ先にご理解いただくことが重要と考える。事業者や関係者への情報提供、定例校長連絡会での説明など効果的な周知に取り組んでいきたい。

市民の安全な生活環境を確保するために



【防犯対策について】

問) 現在、セブンイレブンと「地域活性化包括連携協定」及び「高齢者等の見守り活動に関する覚書」を締結し、市内における、高齢者、子ども、障害者等の生活の安全に寄与する取組を実施している。市内の他のコンビニとも同様の協定締結ができないものか。市の見解を伺う。市) 市民においてもとても有効と考える。相手のご都合もあるので、できる範囲で検討する。

【高齢者施策について】

問) 都では65歳以上の方が自ら使用する目的で初めてスマートフォンを購入する際、3万円を上限に補助をする予定と伺っている。デジタル

デバイドの解消に向けて、本市でも都の事業と連携をして高齢者向けスマートフォン購入費補助事業の創設を提案したい。市の見解を伺う。市) 詳細な情報が入ってきたら、近隣市の動向を注視し効果的な対策を研究してまいりたい。

問) 令和5年度に「孤独・孤立対策推進法」が成立した。国では孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会、相互に支え合い、人々との「つながり」が生まれる社会を目指し、「つながりサポーター」養成の取組が進められている。市内で「つながりサポーター養成講座」の実施は可能か。市の見解を伺う。市) 国の動向を踏まえ、現状の取組を確認しな

公明党 はぎの 英輔



がら判断していく。ご提案のあった「つながりサポーター養成講座」の実施等の具体的な事業等についても検討していくことになる。

【資源循環について】

問) 本市でも、ご家庭で不用となった園芸用土のリサイクル事業を行うことを提案したい。市) 三鷹市では回収した園芸用土に手を加えて無料配布する資源循環に取組んでいる。ノウハウなど聞き取りしながら注視してまいりたい。その他、【環境活動について】と【新庁舎について】をいくつか質問しました。

飼い主のいない猫(野良猫)対策事業について



1. 【鳥居】 飼い主のいない猫が地域に増えすぎてしまうと、糞尿の被害など様々な問題が引き起こされ、地域の衛生環境の悪化とともに近隣住民同士の関係の悪化も起こってしまう場合がある。市では、平成30年度より地域猫不妊去勢手術補助金交付事業を実施してきたが、これまでの経過をどのように捉えているか。【答弁】 請求資料から分かることは、補助件数や猫の死体処理件数が令和2年度をピークに近年減少傾向にある。現在生息している地域猫の数量も減少傾向にあると推測され、事業の一定の効果が出たものと考えている。

2. 【鳥居】 国分寺駅北口地下自転車駐車場(一

時利用限定)の下段ラックが平日午前中に満車となり、混雑している。また、電動アシスト自転車などの重量のある大型車も満車となり、スペースの確保が喫緊の課題である。中央線沿いに位置する国分寺駅北口自転車駐車場(定期利用限定)を活用して利用を分散させることで、満車の解消が出来ないか。【答弁】 国分寺駅北口自転車駐車場の定期契約数は令和6年度末の時点で約1,300台となり、4割強の契約率のため、まだ余裕のある状況である。今後利用実態を調査していく。3. 【鳥居】 黒鐘公園の整備について。昔から住民に親しまれてきた池の活用を踏まえた、インクルーシブな視点での水遊

自由民主党国分寺 鳥居 あかね



び場の整備を要望する。【答弁】 水遊び場の設置の可否、インクルーシブな視点での整備については、現在検討を行っている。4. 【鳥居】 認可保育所の待機児童について。令和7年4月1日時点での待機児童数は9名となり、前年度の24名から15名減少した。新たに実施した定期利用保育事業とベビーシッター利用支援事業が、保育の受け皿として機能したと高く評価する。一方で、保育を必要としている人のニーズは依然として高く、追加の対策が必要。【答弁】 保育事業者と協議・調整を進めていく。